



# 圓塾便り

発行者 澤野ともえ  
発行所 〒604-8223  
京都市中京区小結欄町  
431 株岸本商店内圓塾  
(075)211-5477  
No. 3

## 謹賀新年

初春の候、謹んで念頭のご挨拶を申し上げます。今年も健やかで豊かな年となりますよう、お祈り致します。

さて、2008年初春の圓塾をご案内致します。

「野仏庵初春の和み」「鬼師の世界」「京の菜のはなし」をご用意致しております。いずれも丹精込めた、お勧め講座です！

## 野仏さん

これから、野仏庵ではお地藏様の縁日である毎月二十四日、野仏縁日とみたく、「写経仏造」や、縁日に相応しい、ささやかな催しを開催いたします。

皆さまのお気軽な憩いの場として、野仏庵を活かして参りたいの思いから、縁日を設けることにいたしました。

野仏庵敷地内にございいます八十数体の石仏様と私たちの心に宿る生き仏様が、一体となれるようなひと時を。



皆さまに、親しんでいただけるような野仏縁日「野仏さん」を、少しずつではございますが、創って参りたいと思っております。

その初回としまして、一月二十四日(木)に「野仏庵 初春の和み」を開催いたします。「写経仏造」ならびに

「感謝祈絵」で新春の思いを手先に込めませんか？

## 鬼師の世界

二月は節分です。「鬼は外！福は内！」

節分以外には、あまりお目にかからない鬼ですが・・・比叡山の麓には、毎日毎日鬼と向き合っている人がいます。その名は「鬼師」。鬼瓦を作る職人さんです。

「人が心を込めて作ったものに怖いものはありません。私には鬼が可愛い。何が一番怖いかというと、それは自然です。」と、鬼師の美濃邊さん。

美濃邊さんは、清水寺や西本願寺等の世界遺産はじめ、多くの文化財の鬼瓦を

作つていらつしやいます。が、「国宝、重文関係なく、全て同じように心を込めて作つてます。無名のもんでもええもんがいっぱいあります。文化財を通して、ものを大切にすることを伝えなありません。」とても穏やかな口調ですが、仕事への志を語る美濃邊さんには氣迫がこもっています。

「怪我せん程度に上を向いて歩いて観てください。」二月六日(水)美濃邊鬼瓦工房にて、「鬼瓦」という新たな視点で、文化財を楽しむ手解きを受けませんか？



## 春は菜のみの

春は名のみの風の寒さや・・・ということ、二月十六日(日)野仏庵にて、京都菜博士の「京の菜のはなし」をお届けします。矢澤先生は何十年も葉の研究をされています。野菜から見えてくる壮大なロマンが聞けそうですよ！

## 2007年

そして、先生お勧めのお漬物に、野仏庵の庵守さんのおかゆをお付けして、むしろやしない(軽食)しましょう！

2007年後半の、  
「祇園祭のはらわた」  
「おとなの地藏盆」  
「お亀の方と正法寺」  
「写経仏造」Do you 能？  
「骨董の目利きと巡る京の市・・・」  
参加の皆様、ありがとうございました。

4月に本格スタートしてから早9ヶ月。未熟な圓塾を、応援して下さいませ。

おかげで、無事2007年を終えることができました。



祇園祭のはらわた 南観音山観覽

また、予告していたにも関わらず、実現できなかった企画がありましたこと、心からお詫び致します。



おとなの地藏盆 大数珠くり

2008年は、更にパワーアップして、文化財や伝統の魅力をお届けして参ります。圓塾でお役に立てそうなことがございましたら、お気軽にご相談下さいませ。



お亀の方と正法寺



写経仏造



do you 能？



骨董の目利きと巡る京の市

2008年も、文化からパワーをもらつて、元気に過ごしましょう！